

第10期

# 財 務 諸 表

自：平成31年 4月 1日  
至：令和 2年 3月31日

〒640-8156  
和歌山県和歌山市七番丁11番の1  
アラスカビル502

一般社団法人 和歌山市消防協会

会長 木村 達雄

貸借対照表

令和 2年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,601,093	11,519,064	1,082,029
未収金	320,482	342,300	△ 21,818
前払金	54,300	57,400	△ 3,100
仮払法人税等	234,500	0	234,500
流動資産合計	13,210,375	11,918,764	1,291,611
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
その他の固定資産	9,680	9,680	0
その他固定資産合計	9,681	9,681	0
固定資産合計	9,681	9,681	0
資産合計	13,220,056	11,928,445	1,291,611
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,565,335	1,521,580	43,755
未払法人税等	328,300	469,200	△ 140,900
未払消費税等	1,052,300	764,100	288,200
前受金	0	0	0
預り金	606,498	641,760	△ 35,262
流動負債合計	3,552,433	3,396,640	155,793
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,552,433	3,396,640	155,793
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	9,667,623	8,531,805	1,135,818
正味財産合計	9,667,623	8,531,805	1,135,818
負債及び正味財産合計	13,220,056	11,928,445	1,291,611

正味財産増減計算書

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
会員受取会費	2,921,000	2,988,784	△ 67,784
事業収益			
受託収入	34,793,031	34,849,579	△ 56,548
テキスト販売収入	3,917,500	4,039,500	△ 122,000
物品販売収入	4,200	211,412	△ 207,212
事業収益計	38,714,731	39,100,491	△ 385,760
雑収益			
受取利息	179	162	17
雑収益	4,017,935	4,419,554	△ 401,619
雑収益計	4,018,114	4,419,716	△ 401,602
経常収益計	45,653,845	46,508,991	△ 855,146
(2) 経常費用			
事業費			
テキスト仕入高	2,026,272	2,037,952	△ 11,680
物品仕入高	4,860	157,052	△ 152,192
給料手当	23,022,554	22,044,000	978,554
期末手当	2,675,000	2,764,000	△ 89,000
法定福利費	4,225,134	4,445,490	△ 220,356
福利厚生費	990,963	1,092,777	△ 101,814
通信運搬費	32,490	50,698	△ 18,208
消耗什器備品費	66,000	82,931	△ 16,931
消耗品費	546,369	1,175,066	△ 628,697
修繕費	21,600	0	21,600
印刷製本費	416,779	560,487	△ 143,708
保険料	313,110	30,780	282,330
諸謝金	0	33,000	△ 33,000
広報費	2,656,966	2,880,471	△ 223,505
雑費	31,924	35,472	△ 3,548
事業費計	37,030,021	37,390,176	△ 360,155
管理費			
会議費	294,990	346,652	△ 51,662
旅費交通費	2,360	9,610	△ 7,250
通信運搬費	339,472	350,268	△ 10,796
消耗什器備品費	143,181	310,172	△ 166,991
消耗品費	200,720	490,852	△ 290,132
修繕費	32,065	24,534	7,531
印刷製本費	88,550	16,200	72,350
燃料費	28,375	36,908	△ 8,533

正味財産増減計算書

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
光熱水料費	448,526	450,115	△ 1,589
賃借料	1,848,040	1,846,550	1,490
保険料	103,930	80,410	23,520
租税公課	2,043,126	1,587,524	455,602
支払負担金	133,000	132,500	500
支払手数料	890,193	833,490	56,703
広報費	0	0	0
リース料	414,249	410,540	3,709
雑費	148,929	196,694	△ 47,765
管理費計	7,159,706	7,123,019	36,687
経常費用計	44,189,727	44,513,195	△ 323,468
評価損益等調整前当期経常増減額	1,464,118	1,995,796	△ 531,678
当期経常増減額	1,464,118	1,995,796	△ 531,678
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,464,118	1,995,796	△ 531,678
法人税、住民税及び事業税	328,300	469,200	△ 140,900
当期一般正味財産増減額	1,135,818	1,526,596	△ 390,778
一般正味財産期首残高	8,531,805	7,005,209	1,526,596
一般正味財産期末残高	9,667,623	8,531,805	1,135,818
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	9,667,623	8,531,805	1,135,818

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

① 車両運搬具

定額法によっている

② リース資産

i) 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

ii) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準  
該当なし

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  
該当なし

(6) 消費税等の会計処理  
税込経理によっている

3. 会計方針の変更

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

該当なし

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

該当なし

6. 担保に供している資産

該当なし

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車両運搬具	1,511,180	1,511,179	1
合計	1,511,180	1,511,179	1

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

該当なし

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

該当なし

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

該当なし

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

該当なし

13. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

該当なし

14. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

15. 重要な後発事象

該当なし

16. その他

該当なし

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
その他固定資産	車両運搬具	1	0	0	1
	その他の固定資産	9,680	0	0	9,680
	その他固定資産計	9,681	0	0	9,681

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
該当なし					

# 財 産 目 録

令和 2年 3月 31日 現在

一般社団法人 和歌山市消防協会

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	預 金	普通預金 紀陽銀行市役所支店	11,994,595
		//	606,498
	未収金	R2.3月 自販機設置手数料	320,482
	前払費用	R2.4月分 駐車場代他	54,300
	仮払法人税等		234,500
流動資産合計			13,210,375
(固定資産)	車輛運搬具	軽自動車1台	1
	その他固定資産	リサイクル預託金	9,680
固定資産合計			9,681
資産合計			13,220,056

(流動負債)	未払金	社会保険料他	1,565,335
	未払消費税等	H31年度確定消費税	1,052,300
	預り金	社会保険料・源泉所得税他	606,498
	未払法人税等	法人税、法人県・市民税	328,300
流動負債合計			3,552,433
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			3,552,433
正味財産			9,667,623

# 個別注記表

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

一般社団法人和歌山市消防協会

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 固定資産の減価償却方法

#### ① 車輛運搬具

定額法によっている

#### ② リース資産

##### i) 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっている。

##### ii) 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっている。

### 2. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用しております。

以上

# 旧定額法・定額法による固定資産減価償却内訳明細書

(平成31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日)

商号：一般社団法人 和歌山市消防協会

P - 1

【全登録資産】

印刷：令和 2年 5月 8日(11:43)

(単位：円)

種類	固定資産コード	原価区分(%) 原・販・外	名称 部門 構造・細目	償却方法 数量	事業供用年月日 外年月日	(5%相当額) 取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	耐用年数 償却率	償却期間	償却限度額			当期償却額	償却累計額	期末帳簿価額	摘要	
											普通償却限度額	特別償却限度額	合計					
			<b>【車両及び運搬具】</b>															
16	0000000003	0・100・0	ダイハツ アトレー	定額法 1.00台	H24. 7. 1	1,511,180	1	1,511,180	4年 0.250	12 12		0	0	0	1,511,179	1		
			車両及び運搬具 種類合計			1,511,180	1	1,511,180				0	0	0	1,511,179	1		
						【期末資産の取得価額】 1,511,180	【期中買入額】 0	【期中売却額】 0				【売却損】 0	【売却益】 0	【除却時処分見込価額】 0	【除却損】 0			
			合計			1,511,180	1	1,511,180				0	0	0	1,511,179	1		

- (注1) 償却累計額の合計の上段は期末所有資産のみの合計を表示しています。  
 (注2) 種類が機械及び装置の普通償却限度額の上段は、増加償却の割合と金額を表示しています。  
 (注3) 圧縮記帳を積立金方式で行っている場合は、TPS1000のメニュー「332 法人税・地方税ワーキングシートの入力」で、圧縮積立金取崩額を別表4に直接入力してください。  
 (注4) 改定償却率による計算を開始している資産は、「償却基礎金額」列の上段に「改定償却率」、下段に「改定取得価額」を表示しています。